

沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科履修規程

令和3年4月1日

沖芸大規程第70号

(趣旨)

第1条 この規程は、沖縄県立芸術大学大学院学則に定めるもののほか、芸術文化学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目の種類、単位、履修方法その他必要な事項を定めるものとする。

(研究指導)

第2条 研究科の学生（以下「学生」という。）は、在学期間中は研究科に設けられている研究室に所属する指導教員及び担当教員の研究指導を受けなければならない。

2 研究科の研究領域及び研究室の種類は別表第1のとおりとする。

(研究計画)

第3条 学生は、毎学年度始めの所定の期日までに、研究実施計画書（第1号様式）を提出しなければならない。

2 博士論文等を提出しようとする年度の研究実施計画書には、博士論文等の計画概要を添付しなければならない。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第4条 研究科における授業科目の名称、単位数及び履修方法は、別表第2に定めるとおりとする。

2 学生は、前項に定める授業科目のうちから、必修科目及び選択科目を合わせて10単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けなければならない。ただし、研究指導については単位を与えないものとする。

(履修登録)

第5条 学生は、毎学年度（前期及び後期）の定められた期間内に、指導教員及び担当教員の指導を受けて履修する授業科目を決定し、教務学生課に届け出なければならない。この手続きを履修登録という。

2 臨時に開設される授業科目の履修登録については、その都度公示する期間内において行うものとする。

(成績評価の基準)

第6条 授業科目の成績評価基準は、次のとおりとする。

評語	評点	評価基準
秀 (S)	90～100点	到達目標を十分に達成し、内容が特に優れている。
優 (A)	80～89点	到達目標を十分に達成し、内容が優れている。
良 (B)	70～79点	到達目標を概ね達成している。
可 (C)	60～69点	到達目標を最低限度達成している。
不可 (F)	59点以下	到達目標を達成していない。
		履修放棄又は受験放棄

認定(R)		単位認定等
-------	--	-------

(博士論文等の提出)

第7条 比較芸術学研究領域及び民族音楽学研究領域においては博士論文、芸術表現研究領域においては博士論文、研究作品又は研究演奏（以下「博士論文等」という。）の提出は、研究科に2年以上在学し、第4条に定める履修方法により、課程修了時まで10単位以上を修得見込みの者に限るものとする。ただし、優れた研究業績をあげたと研究科委員会が認めた者の在学要件については、大学院学則第45条第1項ただし書及び第2項に規定する期間の在学見込みがあれば足りるものとする。

- 2 博士論文等を提出する学生は、あらかじめ予備審査に合格しなければならない。
- 3 前項に規定する予備審査の申請は、指導教員の承認を得て、研究科長が指定する期日までに、学位予備申請書（第2号様式）の提出により行うものとする。
- 4 休学又は留学している学期は、前項に規定する申請を行うことができない。
- 5 博士論文等は、指導教員の承認を得て、研究科長が指定する期日までに、学位審査申請書（第3号様式）を添えて提出しなければならない。

(博士論文等の審査及び最終試験)

第8条 博士論文等の審査及び最終試験は、沖縄県立芸術大学学位規程第6条の定めるところにより、研究科委員会が行う。

- 2 博士論文等の審査基準並びに最終試験の方法及び審査基準は、研究科長が別に定める。
- 3 特別の事情により博士論文等の審査及び最終試験を受けることができなかった者は、その理由を付して博士論文等の追審査及び追試験を願い出ることができる。
- 4 研究科長は、前項の願い出があった者については、研究科委員会の議を経て博士論文等の追審査及び追試験を行うことができる。

附 則（令和3年4月1日学長決裁）

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 施行日の前日において在籍する者で、施行日以後も引き続いて在籍するものについて、廃止前の沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科履修規程（平成26年3月20日評議会決定）は、この履修規程の施行後も、なおその効力を有する。

■別表第1（第2条関係）

研究室一覽

芸術文化学専攻	比較芸術学研究領域	比較美学・芸術学研究室
		芸術批評史研究室
		民族芸術文化学研究室
	民族音楽学研究領域	音楽史研究室
		民族音楽学研究室
		民族芸能論研究室
	芸術表現研究領域	造形芸術研究室
		音楽芸術研究室

■別表第2（第4条関係）授業科目及び履修方法

区分	授業科目名	学期	種別	履修年次	単位数	備考
必修科目	芸術表現総合比較研究Ⅰ	通年	演習	1・2	2	○修了の要件
	芸術表現総合比較研究Ⅱ	通年	演習	2・3	2	
選択科目	比較美学研究A	後期	講義	1・2	2	(1) 研究指導
	比較美学研究B	前期	講義	1・2	2	
	比較芸術学特殊研究A	前期	講義	1・2	2	
	比較芸術学特殊研究B	後期	講義	1・2	2	(2) 単位の取得 (10単位以上)
	日本芸術批評史研究A	前期	講義	1・2	2	
	日本芸術批評史研究B	後期	講義	1・2	2	
	東洋芸術批評史研究A	前期	講義	1・2	2	・必修科目 芸術表現総合比較研究Ⅰ(2単位)
	東洋芸術批評史研究B	前期	講義	1・2	2	
	西洋芸術批評史研究A	後期	講義	1・2	2	
	西洋芸術批評史研究B	前期	講義	1・2	2	・選択科目 2科目以上 (8単位以上)
	民族工芸論研究	通年	講義	1・2	4	
	映像論研究	前期	講義	1・2	2	
	日本芸術文化学研究A	前期	講義	1・2	2	(3)博士論文 (芸術表現研究領域では研究作品 または研究演奏を含む)の審査 及び最終試験の合格
	日本芸術文化学研究B	後期	講義	1・2	2	
	民族芸術文化学研究A	前期	講義	1・2	2	
	民族芸術文化学研究B	後期	講義	1・2	2	
	東洋芸術文化学研究A	前期	講義	1・2	2	
	東洋芸術文化学研究B	後期	講義	1・2	2	
	民族芸術学特論	後期	講義	1・2	2	
	比較民俗学研究A	前期	講義	1・2	2	
	比較民俗学研究B	後期	講義	1・2	2	
	東洋工芸史研究	通年	講義	1・2	4	
	西洋音楽史研究	通年	講義	1・2	4	
	日本音楽史研究	通年	講義	1・2	4	
	民族音楽学研究	通年	講義	1・2	4	
	琉球音楽論研究	通年	講義	1・2	4	
	民族舞踊学研究	通年	講義	1・2	4	
	民俗芸能論研究	通年	講義	1・2	4	
	琉球楽劇論研究	通年	講義	1・2	4	
	楽曲分析研究	後期	講義	1・2	2	
アートマネジメント研究	通年	演習	1・2	2		
芸術学研究	通年	講義	1・2	2		

第1号様式（第3条関係）

研究実施計画書

令和 年 月 日

学 生	芸術文化学 芸術文化学	研究科 専 攻 研究領 域	学生番号	
			氏 名	
学位論文等の別 (右記のいずれかに○をする。)		博士論文 (研究作品 ・ 研究演奏)		
指導教員		印	担当教員	印
研究指導会議教員名				
(1) 研究実施計画				
①研究テーマ				
②研究目的 (研究の背景、芸術、学術的な特色や独創性等を踏まえ記入する。)				
③研究計画・方法 (研究目的を達成するための計画・方法を年度に分けて記入する。)				

研究実施計画は教員の指導を受けて学生が記入する。

(2) 研究指導計画

年度に分けて具体的に記入する。

研究指導計画は指導教員が作成する。

(注意)

1. 記入欄が不足する場合は、適宜、用紙を補うこと。
2. 5月末までに研究科長（教務学生課）に提出すること。
3. 研究指導会議教員名の欄には、指導教員、担当教員以外の教員名を記入する。

第2号様式（第7条関係）

指導教員署名 _____ 印

学位予備申請書

令和 年 月 日

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科長

殿

芸術文化学専攻
研究領域 _____

学生番号 _____

氏名 _____ 印

このたび沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科履修規程第7条第3項の規定に基づき、下記のとおり関係書類を提出しますので、御審査くださるようお願いいたします。

1. 学位論文題目および予定目次
2. 学位論文要旨
3. 添付する論文（2点以上）

学位論文題目（仮題）

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科
芸術文化学専攻 研究領域 _____

学生番号 _____

氏名 _____ 印

題目

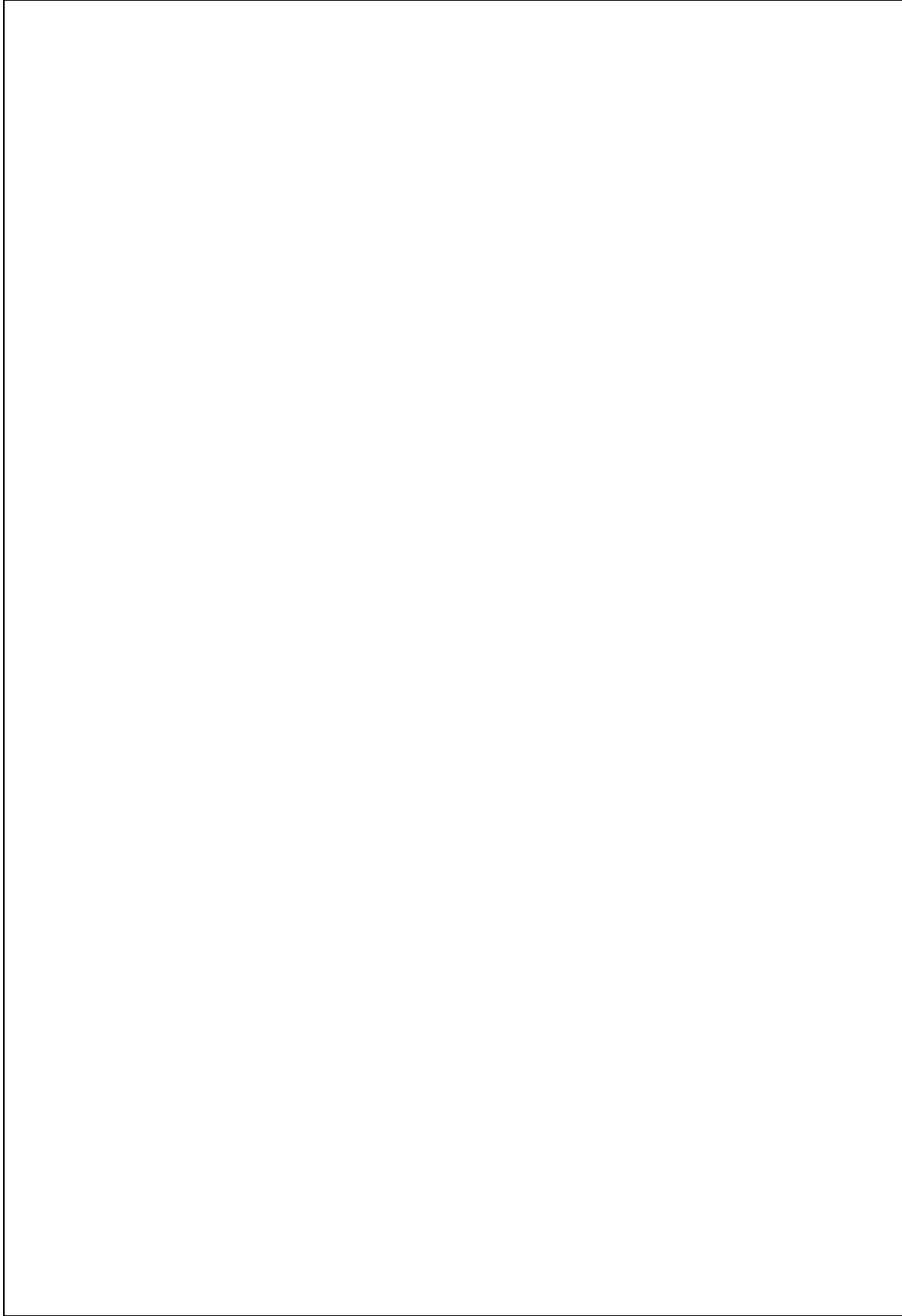
--

【予定目次】

学位論文要旨

(注) 2,000 字以内

添付する論文 (2 点以上) の題目



第 3 号様式 (第 7 条関係)

指導教員署名 _____ 印

学位審査申請書

令和 年 月 日

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科長

殿

芸術文化学専攻

研究領域 _____

学生番号 _____

氏名 _____

印

このたび沖縄県立芸術大学学位規程第5条第1項及び芸術文化学研究科履修規程第7条第5項の規定に基づき、下記のとおり関係書類を各3部提出しますので、御審査くださるようお願いいたします。

4. 博士論文目録
5. 博士論文要旨 (2,000字以内)
6. 博士論文英文要旨 (500語程度)
7. 履歴書

博士論文目録

項 目

頁

博士論文要旨

(注) 2,000 字以内

博士論文英文要旨

(注) 500 語程度

履 歴 書

ふりが な 氏		男・女	本籍地 又は国籍	
---------------	--	-----	-------------	--

名				
生年月日	年	月	日	現住所 及び連絡 先
生		歳		〒 TEL

学 歴

年 月	事 項
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	

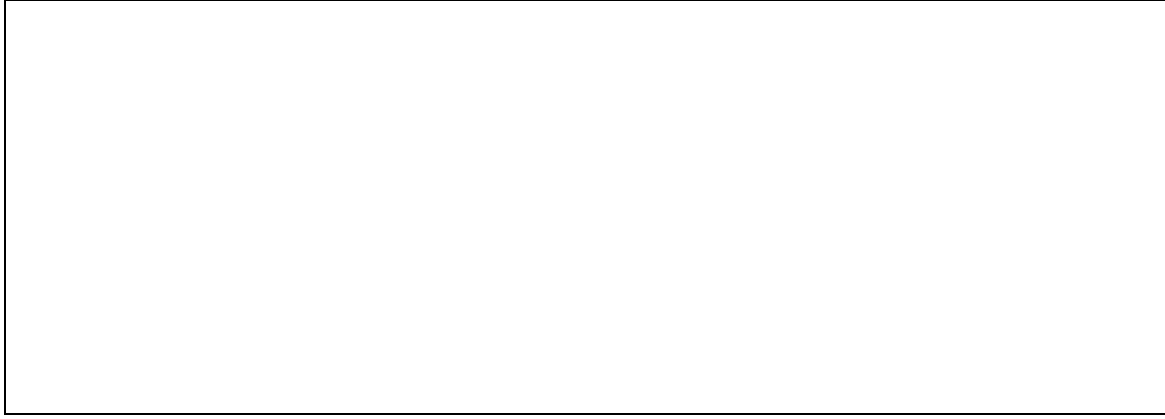
職 歴

年 月	事 項
年	
月	
年	
月	
年	
月	
年	
月	

月	年	
月	年	
月	年	
月	年	
月	年	
月	年	

研究歴・研究業績等

--



上記に相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

印